NWECおよび男女共同参画センターの機能強化に関するWG第3回(2023.3.10)

ジェンカレッジ代表　櫻井　彩乃

自己紹介

Torch For Girls 代表
#男女共同参画ってなんですか 代表
GENCOURAGE 代表

櫻井　彩乃（28）

1995年
誕生

2012年
ジェンダーとの
出会い

2015年
Torch for Girls
立上げ

2018年
ボーダレスジャパン
JOGGO(株)
入社

2020年
#男女共同参画ってなんですか
プロジェクト開始

2022年
GENCOURAGE立上げ
(公財)ジョイセフ入職

〈公職等〉
こども政策の推進に係る有識者会議　臨時構成員
内閣府男女共同参画推進連携会議　有識者議員
横須賀市男女共同参画及び多様な性の尊重に関する審議会委員

東京都葛飾区男女平等推進審議会委員
葛飾区女性のための防災等検討委員会委員

#男女共同参画ってなんですかについて

■目的：第5次男女共同参画基本計画に30歳未満の若者意見を反映

■32の団体・個人と連携

■1050件のパブコメとユース提言*を手交

*第５次男女共同参画基本計画パブリックコメントに伴う ユースからの提言

■地方の若者の参加・声が多数

住んでいる地域で同様の活動を展開したいという声も

■第5次基本計画策定専門調査会の資料となる

ユースの声で反映されたこと

・就活セクハラ対策

・緊急避妊薬のスイッチOTC化の検討

ユースの声で議論されたこと

・選択的夫婦別姓

居場所が欲しい若者

ジェンカレ
GENCOLLEGE

ジェンダー平等に関心を持って、自分で学び、SNSで同世代と繋がるが、
「いいね」するだけの関係性なので、実際に意見交換などしたいけれどもできない。
SNSだと顔が見えないので、怖いと思い連絡ができない。
興味関心が同じ同世代と安心安全に話せる場が欲しいです。

地方に住んでいるので、ジェンダーを学べる・話せる場がありません。
親や友達にジェンダーに関心があると言ったら「怖い」「そんなこと考えるのやめなさい」と言われ、周囲にジェンダーの話ができなくなりました。興味ある事を興味あると言いたいです。この問題に関心のある私がおかしいのでしょうか？苦しいです。

ジェンダー課題に関心があり、本を読んだりイベントに出たりしていますが、もっと学びたいので、学校や専攻に関係なく多様な人が学べる場が欲しいです。また、既に活動されている方や（非営利ではなく）様々な分野でジェンダー平等に取り組む大人から話を聞ける機会が欲しいです。

何を変える？
どう変える？

ジェンダー平等な未来を拓く

次世代のサードプレイス、開校

ジェンカレ

ジェンカレッジについて

ジェンカレ
GENCOLLEGE

■第一線の研究者・実務者から、ジェンダーに関する知識を体系的に学び、
多世代で対話をする場

■同じ問題意識を持つ同世代の仲間と共に学び、メンターからのアドバイスを
受けながらジェンダー課題解決のアクションにつなげる（5か月間）

1 各分野のトップランナーから
ジェンダー課題を包括的に学ぶ

2 同じ思いを持つ同世代の
仲間やトップランナーに出会う

3 講義やディスカッションを通して
課題解決能力を磨く

4 自らアクションを起こすための
具体的な方法を知る

5 エンパワーされ、自信がつく!

GENDER EQUALITY

カリキュラム

ジェンカレ GENCOLLEGE

STEP1 ジェンダー課題の自分ごと化

STEP2 国際動向と日本の現状理解

STEP3 ISSUEごとの現状理解

STEP4 My Action Planの作成

00

Orientation
MAP作成のための現状分析・課題解決の基本
講師：高橋 聖子さん
more

01

Basic - 1
ジェンダーとは何か
ジェンダーバイアス
講師：治部 れんげさん
more

02

Basic - 2
世界共通目標としてのジェンダー平等
講師：大崎 麻子さん
more

03

Basic - 3
日本のジェンダー平等政策と現状
講師：林 伴子さん
more

04

Leadership
政治における女性のリーダーシップ①
講師：三浦 まりさん
more

05

Rights
Gender Based Violence
講師：山口 のり子さん
more

06

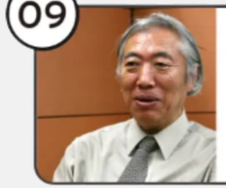
Rights
Sexual and Reproductive Health and Rights
講師：早乙女 智子さん
more

07

History
ジェンダー視点から見つめ直す日本史
講師：横山 百合子さん
more

08

MAP中間発表
= My Action Plan
more

09

Work
労働とジェンダー
講師：山口 一男さん
more

10

Work
結婚・家族とジェンダー
講師：山口 慎太郎さん
more

11

Leadership
ビジネスにおける女性のリーダーシップ
講師：及川 美紀さん
more

12

Leadership
政治における女性のリーダーシップ②
講師：調整中
more

13

MAP発表
= My Action Plan
more

若い世代から見た男女共同参画センター

若い世代の困りごとに寄り添えるのは男女共同参画センター？

若い世代の特徴：社会運動＝SNSで発信

■自身の住むまちや地域社会については、心理的な距離
■ジェンダー平等実現のため何かしたいけれど、自分の住むまちの行政が
　何をしているかは知らず、そもそも行政とも地域とも接点がなく、
　イメージが持てない
■しかし、居場所がほしい/ジェンダーの話をできる場がほしい
■SNSだけだと社会が良くなっているイメージが持てない

若い世代が、一番身近な人や地域へジェンダー平等の取り組みを働きかける上で、男女共同参画センターは大きな役割を担える

若い世代こそ、男女共同参画センターを積極的に活用すべき

■課題解決のため日々小さな積み重ねをするうえで、最もアクセスしやすい
　場所にある（そうではない場合もありますが）
■地域の中でジェンダーに起因する悩みなどを相談できる
■ジェンダー関連の図書やイベント情報が充実している

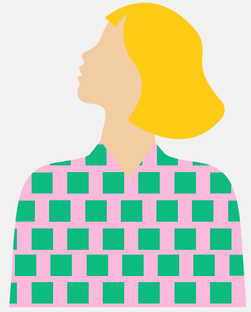
ジェンダー平等実現に向けたアクションの一つとして、
「あなたの住むまちの男女共同参画センターを訪ねてみよう」と呼びかけ

男女共同参画センターに初めて行ってみたけど、
職員の方が「若者が来た！」と温かく迎えてくださり、
図書も充実していてびっくりしました。もっと早く知りたかった。

若者が抱く男女共同参画センターのイメージ（一例）

■ジェンダー平等に関心を持っているものの、男女共同参画センターを知らない
■男女共同参画＝ジェンダー平等だと認識していない
■男女共同参画センターの機能がイメージしづらい
■国の政策には関心があるが地方自治体に目が向いていない
　自分の住んでいる地域にも男女共同参画に関する計画などがあること知らない
■ママパパ講座で行くとこ？〇〇発表会で行ったことあるけど…
■困っていないのに行ってもいいの？
■男女以外が行ってもいいのか？

興味深い講座を開催しているのは知っているが、男女センターは
WEBサイトや紙媒体の広報が主のところもあり、情報収集が難しい…



男女共同参画センターに関するアンケート

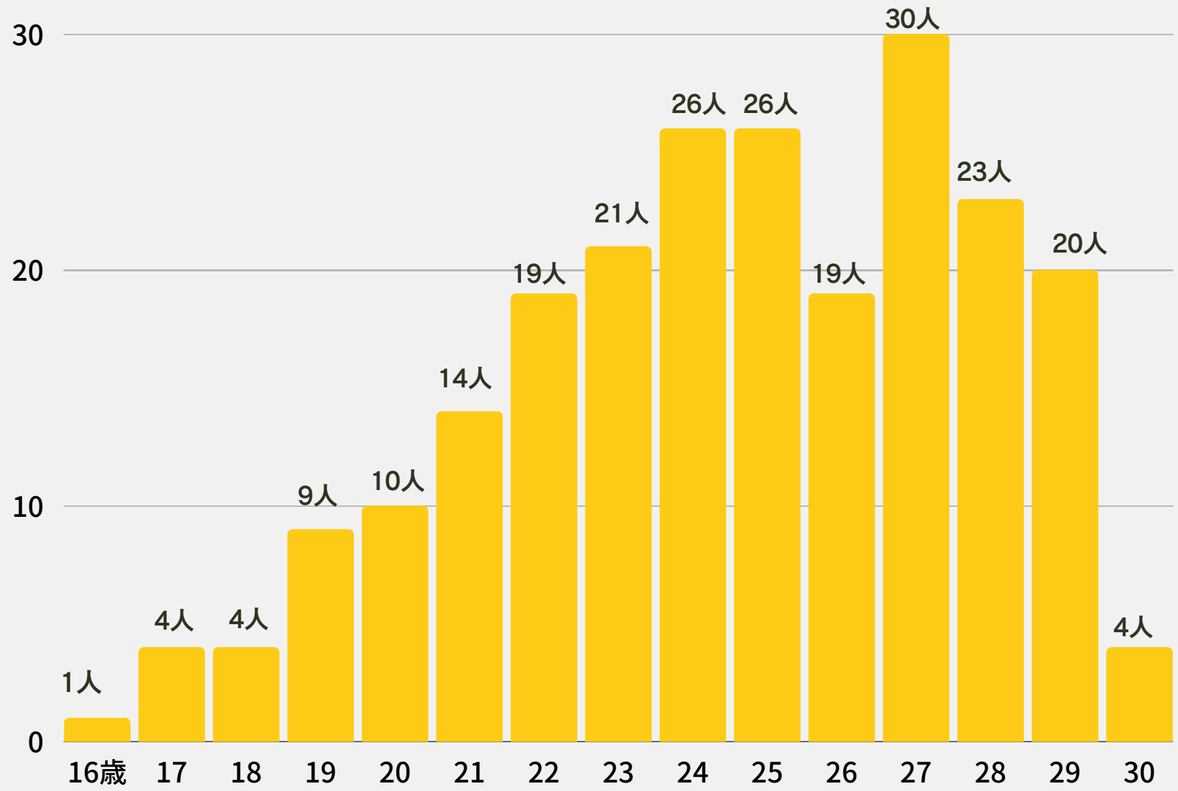
■期間：2022年7月27日19時55分から8月2日まで

■対象：30歳以下

■方法：Googleフォームにて意見を募集

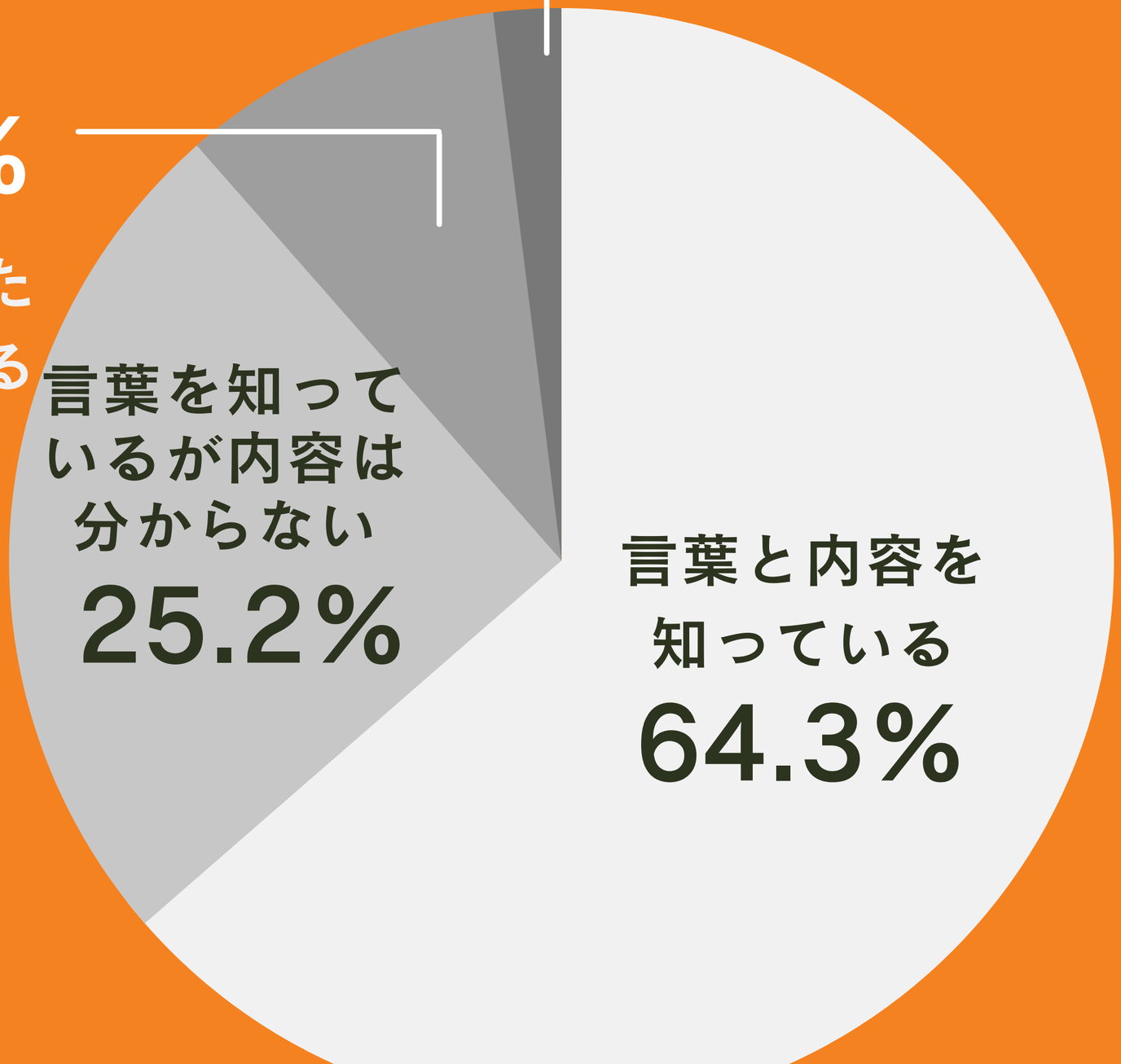
■意見数：230名

■実施：櫻井彩乃(#男女共同参画ってなんですか)

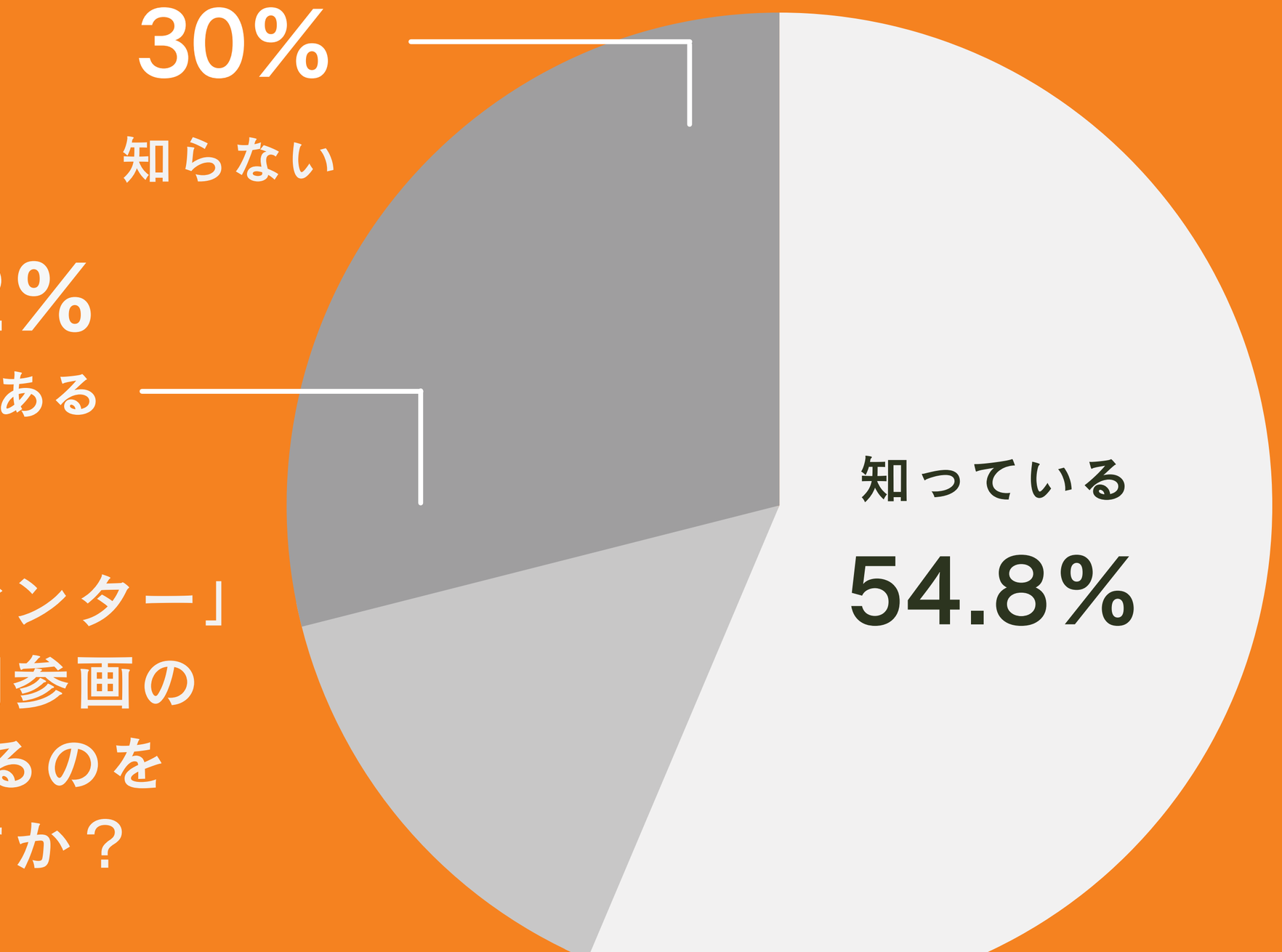


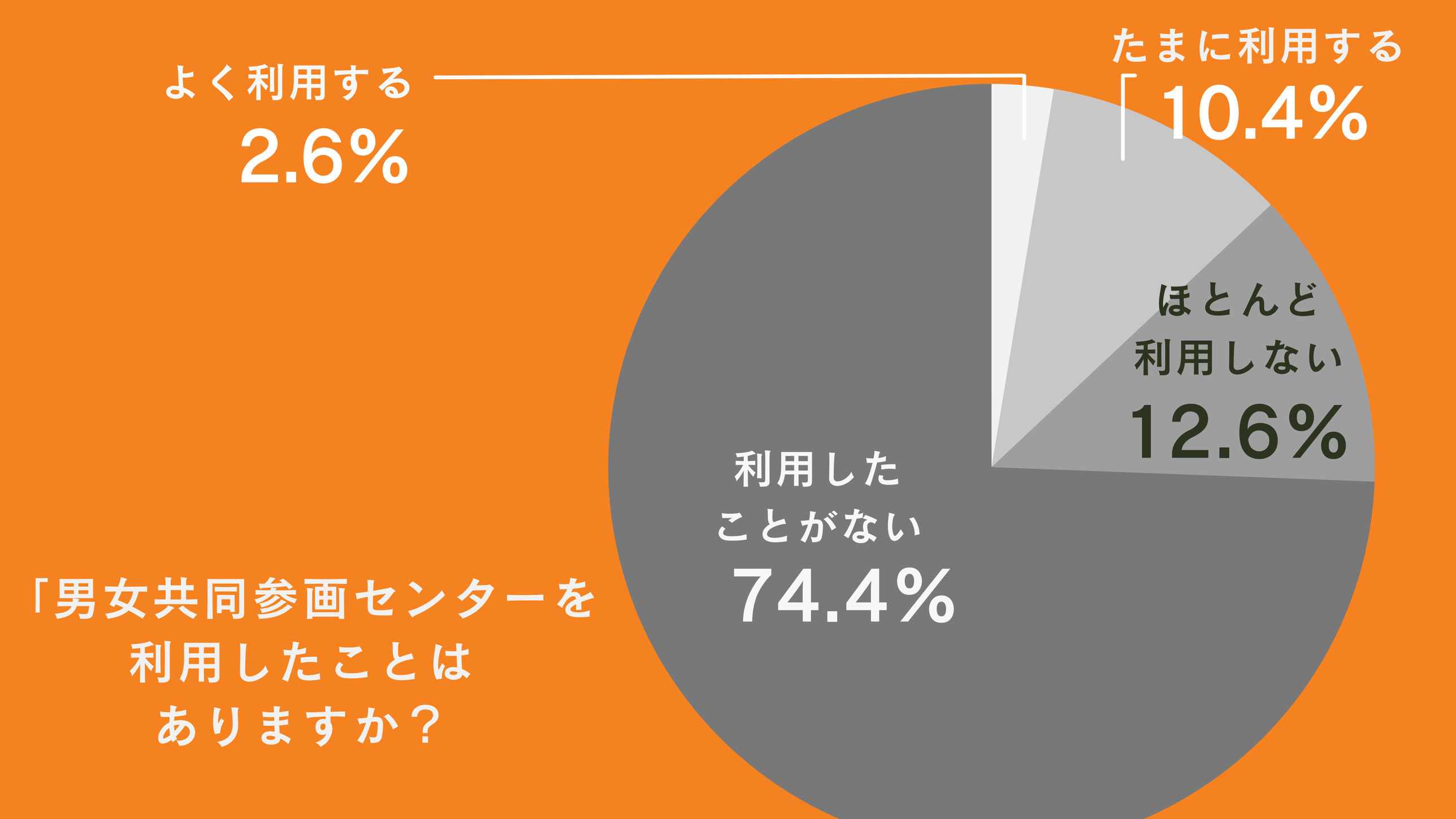
※気軽な意見交換として伺った内容となります

男女共同参画について


0.9%
知らない
9.6%
ジェンダー平等なら聞いたことがある/知っている
言葉を知っているが内容は分からない
25.2%
言葉と内容を知っている
64.3%

「男女共同参画センター」
という男女共同参画の
総合施設があるのを
知っていますか？

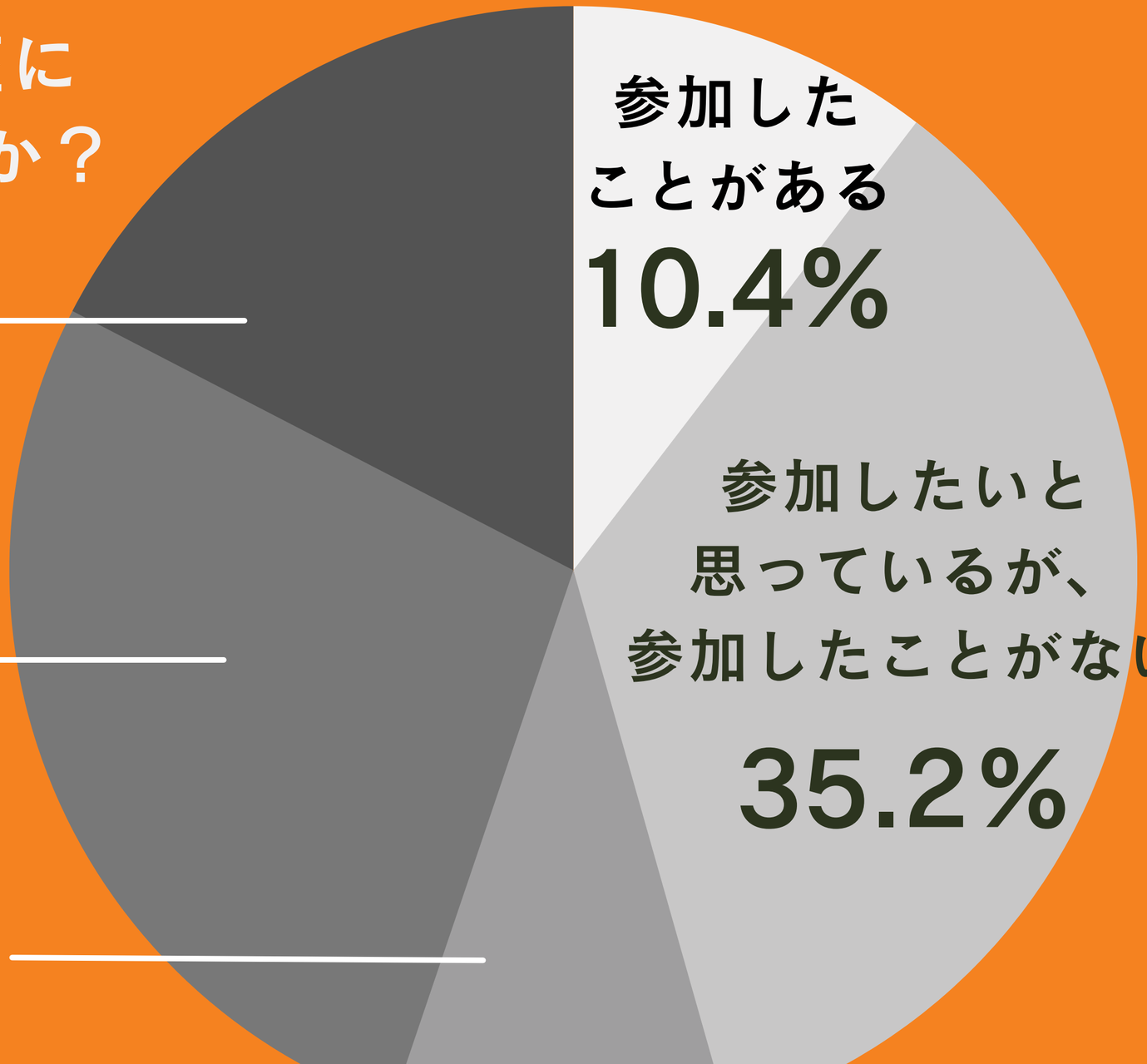



よく利用する
2.6%
たまに利用する
10.4%
ほとんど
利用しない
12.6%
利用した
ことがない
74.4%
「男女共同参画センターを
利用したことは
ありますか？

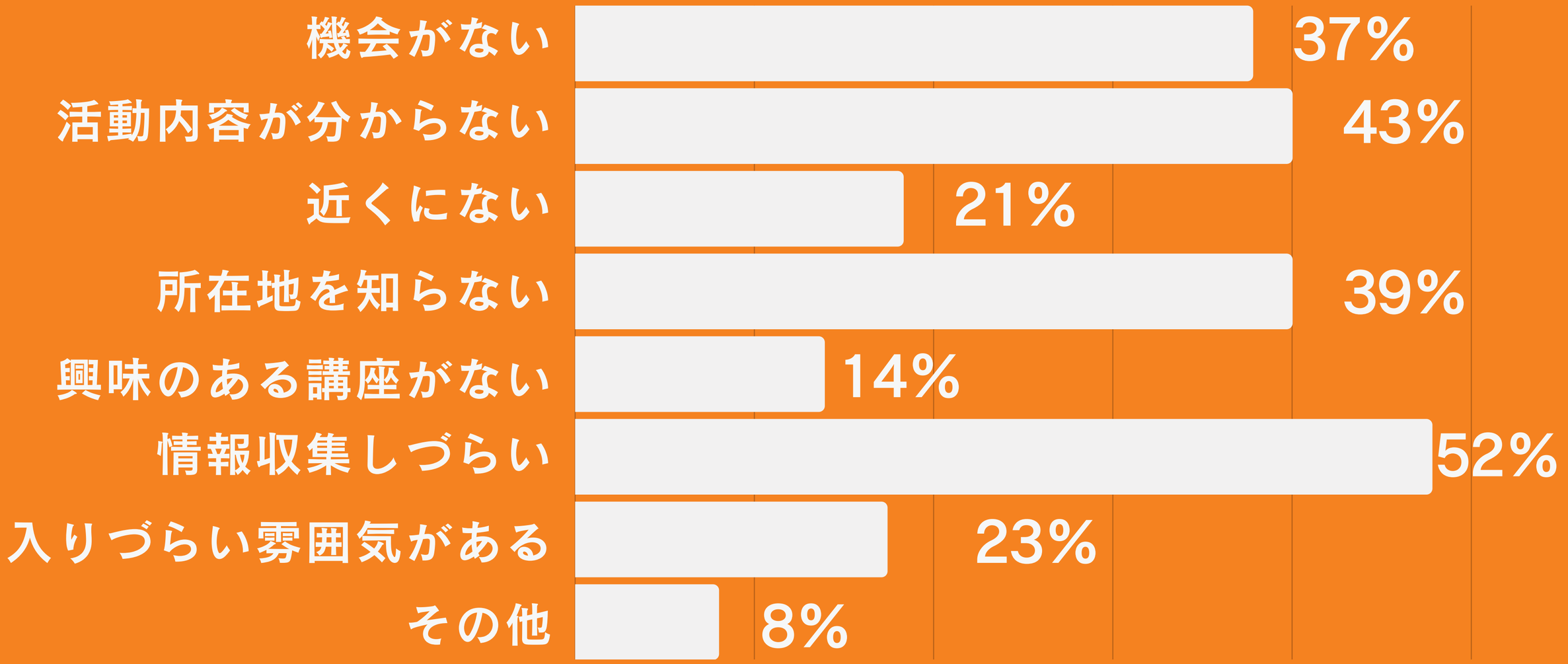
どのような理由で利用しましたか？（一部）

■大学のサークル活動の施設として
■大学の図書館では居心地が悪く感じた時に、よく利用していた
　置いてある図書なども、とても内容が充実していたように思われる
■ミーティング会場として利用した
■勉強をする場所として使った
■ジェンダー平等の活動をする仲間に男女共同参画センターのことを聞き訪問した
■イベント・セミナー参加のため
■書籍のリクエスト、配布冊子をもらいに
■毎月開催される映画上映会参加のため
■自助会のようなもので（性などに関する悩みを持つ人の）私は性被害者として参加
■宿泊のため
■演奏会の会場として
■セクシュアルマイノリティ啓発イベントへの参加

「男女共同参画センターが
主催するイベントや講座に
参加したことはありますか？



「男女共同参画センターを
利用しない理由を教えてください（複数回答）



※複数回答のため計100%とりません

その他回答の理由（一部抜粋）

■事業内容

・何をしている場所なのか分からない、ターゲットが分からない

・講座があまり開かれていないイメージがある

■広報発信

・自分からウェブサイトなどで調べないと情報が入ってこない

・情報が得られないためどうしても遠い存在に感じてしまう

■施設・設備

・平日日中に開催されるイベントが多く、ターゲットではないと思ってしまう

■アクセス

・車でしか行けないようなところにあったり、建物の雰囲気が暗い

行きたいと思っても親に連れて行ってもらうしかないので、なかなか行けない

■その他

・男女平等ではなく男女共同参画という名前が違和感を感じる

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？(一部)

■事業内容

・若者向けの講座、学校との連携（課外活動）

・オンライン、リアル含め交流の場を設ける

・「男女共同参画」って難しそう……という先入観を取り除けるような取り組み

■広報発信

・SNSでの情報発信、街中での情報発信（地域の若者とのコラボレーション）

■施設・設備

・公共交通機関でアクセスの良い場所での開催

・施設利用時間を平日20時以降や土日18時以降まで拡大する

■その他

・センター名称を変更してほしい（男女共同参画という言葉が現代に合わない）

・男女共同参画推進員の若者枠を作る

NWECへの期待

1.情報へのアクセスのハードルを下げる

■独自の教材は内容の充実度が高く、非常に上質
　一方で、コンテンツにアクセスしづらい(例：DLしないと閲覧できない)
　誰もがジェンダー平等に関する学びを深めることができるようにしてほしい

■ジェンダー平等についての学習教材の開発

2.国と地方それぞれの視点でアプローチする（前回も議論されている）

■国目線のアプローチ：法律で義務付けて、各市町村・都道府県が男女共同参画センターを必ず設置し、男女共同参画事業を行うように義務付ける

■地方目線のアプローチ：意欲ある市区町村がその取組みをさらに進められるよう、NWECからのノウハウの支援・国からの財政支援（国庫補助金・地方交付税措置など）によって、各市町村の実情に合わせた取り組みの前進を図る

■民間団体との連携（男女共同参画センターも）

男女共同参画センターへの期待

男女共同参画センターに行きたくなる仕掛けづくり

1.子ども・若者の居場所

2.子ども・若者の参画・協働の機会創出

・意思決定の場や計画・事業策定の場に若者も一緒に参画する

・学校との協働（探究学習）、ユース団体との協働、

・ボランティア・ インターンシップ等の募集

・若い世代によるジェンダー平等の活動の萌芽を見つけ出し、
「それ、わたしたちと一緒にやってみませんか？」とアウトリーチ
チラシではなく、若者が使うプラットフォーム（SNS等）でアプローチ

3.男女共同参画事業の人材育成

・低賃金・非正規ではない働き方

・ジェンダー課題に関心のある若者を雇用し育成

参考資料

男女共同参画センターに関するアンケート結果詳細

「男女共同参画センターを 利用しない理由を教えてください（複数回答）その他回答の理由

■講座があまり開かれていないイメージがある
■男女平等ではなく男女共同参画という名前なのが気に食わない
　「人間」として扱われたいのに「女性」として扱われることに違和感がある
■気になって調べたことがあったのですが、平日の昼間の開催が多く仕事をした後に
　同じことに興味がある人と意見交換したり参加できたらいいなと思いました
■情報が得られないためどうしても遠い存在に感じてしまう
■車でしか行けないようなところにあったり、暗い建物だったりします
■ポスター等で出ているイベントが、30代後半以降位の女性を対象にしている
　感じがし、自分向けではないと感じる
■学校に通っていた時は学校の近所に一つあったのでよく行っていたのですが、
　今は地元のセンターが家から遠いので全く行けていません。コロナもあるので
■調べる機会がないため何をしてるかしらない

「男女共同参画センターを 利用しない理由を教えてください（複数回答）その他回答の理由

■自身で困った事がないので、相談する機会がない

■このアンケートに答えるために、地元の男女共同参画センターの講座のリストを見てみた。そしたら、『女性のための起業支援講座』や『働きやすい職場を自分でつくるビジネス・コミュニケーション』などの、女性が社会で生きる困難を女性自身で解決することを強いる内容のものばかりでこの国の地獄をみた気がした。
なぜ、例えば職場で女性であるが故に働きにくいと考える女性のための講座が、職場でうまく立ち回るためのマナー講座・リーダーシップ講座なのか。
むしろ働きにくさを社会の構造の問題として考えるための契機を与えるべきなのではないか。ひどいと思った。

■住んでいる区のセンターにはSNSがなく、町の掲示板で情報を知る。わざわざwebサイトにアクセスして情報を得たいと思うようなイベントの企画もあまりない。

■一度自助会でお部屋をお借りした時に初めてセンターを知った。役員など仕事として男女共同参画に関わる人が使う施設というイメージがあった。

「男女共同参画センターを 利用しない理由を教えてください（複数回答）その他回答の理由

■行政の言う「男女共同参画」は、女性を保護すべき弱い対象、男性を家庭運営に参加しない対象と言うステレオタイプをもとに話を展開しており、それをなくしましょう！という趣旨だったとしても、前提に賛同しかねる。違和感がある。

■講座の内容はどれもにたりよったりなイメージがあるから

■男性の相談内容は、女性とは異なる内容であり、ハードルの高い内容が多いと思っており、男性の相談を想定してなさそうな窓口には相談したくないため。

■DV被害者男性に対するイベントが少なく、心ない言葉をかけられたので二度と行きたくない。

■男女といいつつ、実際は女性向けばかりだから。

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■ユース向け講座
■公共交通機関でアクセスの良い場所で開催する、施設利用時間を平日20時以降や土日18時以降まで拡大する
■SNSでの情報発信、街中での情報発信
■男女共同参画を知らなくても、「男らしさ」「女らしさ」という言葉にもやっとしたり「なんとなく」思ってる人は潜在的にいると思う。
■学校と連携して若者向け講座を開講する、オンライン、リアル含め交流の場を設けるなど、とにかく学校機関と連携する。
■「男女共同参画」って難しそう……という先入観を取り除けるような取り組みがあるといいと思う。
■男女共同参画センターという名前が固いイメージがあるので近寄りがたいと感じたことがある

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■どんな場所なのかを知ってもらう、若者にも有益な場所であることが分かるような取り組み

■小学校、中学校時代から課外活動などの機会を設けるなど

■企画展

■カフェが施設内にあったり、施設がカフェの近くだったら、友達と外出のついでに気軽に行けるかも。また、イベントのお知らせがあっても、どんな人が参加しているか、運営スタッフがどんな人なのか、イベントはどんな様子なのかが分からなくて、どんなイベントを期待すればいいのか分かりにくい。イベントの様子の写真を発信すると参加しやすくなります。

■同年代の参加者がいると自分も参加したくなる。

■場所を提供、活動目的を学校等で紹介してほしい

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■地域の学校にお知らせを置いてくれたり、積極的にきてくれたりしたらいいかも！ユースだけの時間を設ける
■興味を引く講座、イベント、発信を行ってほしい
■子供の頃から参加できるイベントやチラシなどでの啓発も良い
■室内の情報や利用している様子などをSNSで発信する
■HP、SNSのアカウントでの発信は必須だと思います。また、イベント情報の発信だけだと拡散力に欠けると思うので、普段から理念に基づいた発言や意見などを積極的にすると親近感を持ってもらえるのではないかと思います
■広報のポスターで若者にフレンドリーなデザインにする。企画を若者向けにする。入りやすい雰囲気にする。
■若者に影響のある著名人からのSNS発信、固いイメージを払拭

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■ジェンダーに関する大学生サークルに活動拠点を提供
■地域の屋外イベント（デザイン等も洗練されているもの）に出展する
■SNSでの発信：活動内容の配信、アンケートの実施、イベントの告知など
　できれば市民からの意見・コメントも受け付ける双方向型が望ましい
■若い人が運営するSNSが必要
■どこを利用できるのか、住民以外の自治体も利用できるのか、を知りたい
■インフルエンサーに宣伝してもらう
■男女共同参画という語彙がよく分からないので、解説したり、
　名前を変えて欲しい
■電車に貼る、サブカルチャーを利用する
■若者が男女共同参画事業に参加する機会を作る、男女共同参画推進員の
　若者枠を作る

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■TikTokで啓発

■どんな設備や施設が存在しているかを各都道府県ごとに伝えることが必要だと思います

■学習机などを設置し、男女共同参画に関心がない若者も場所を活用できるような環境整備を行うことが必要
よい図書がそろっていると思うので、まずは目に触れる機会をつくっては？

■zoomなどのオンラインでのイベント開催

■駅の広告

■施設の存在を知っていただくことが重要かと思います。SNSでの発信は正直頭打ちで、なかなか新しく広げていくことは難しいかと思いますが、ユース向けの講座や正しい知識の発信など、今できることを高い質でひとつひとつ積み上げていくことが大切だと考えます

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■ターゲットに対して無料相談場所である事の情報発信、事前告知ありでの出張営業による(例えば移動式図書館トラックのような)認知拡大

■フェミニズムなど先端の政治的主張を学ぶ講座の拡充。
差別的発言・政策・行動を繰り返す政権・権力・民間組織に対抗するためのデモや抗議活動の拠点としての機能の拡充。

■まず認知してもらわないとダメな気がします。調べないと出てこないようにするのではなく、普段行くところ『市役所、病院、図書館』にポスターを貼る、HPで一定期間大きなバーナーを出す、などして知らない人が知るようにしないと認知度は上がらないと思います。駅や郵便局などに広告を出すのもいいと思います。SNSとかよりもまず「男女共同参画センター」を必要とする人のターゲットがどのような場所に多いかを調べて、そこに広告なりポスターなり映像を流すなりした方がいいんではと思います。

若者に「男女共同参画センター」を訪れてもらう/活用してもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか？

■若者だと範囲が広いので、一部のペルソナに刺さる凝ったイベントがあればいいなと思います！

■知名度が低いのと実態、及び市民にどんな恩恵があるのかがわかりにくいです

■ジェンダー関連啓発教室や相談以外での訪問頻度を増やす(子供スペースの充実、自習スペースの拡充)

■教育機関など、とにかく若者の目に触れる様にイベントなどの情報を届ける

■カフェスペースをつくる

■若者受けするような広報活動、若者がジェンダー平等に関するプロジェクトを実施できる機会

■男女共同参画のために具体的に何をしているかあまり伝わっていないので、もっとアウトリーチ活動をすべき。大学の男女共同参画室とコラボしたり、中学校や高校に出向いて講座を設けたりするべき。講座は講義というより生徒の思考・議論・対話を促進するような形にするべき

「男女共同参画センター」に求めることはありますか？

■具体的に何をしているのかが分かりづらいイメージがあるため、幅広い講座を開いて、地域の人を巻き込んでほしい
■LGBTQ+に対する配慮が欲しい。男女という名称があるせいで既に抵抗感がある。また、共同参画が何なのかわからない
■地域に蔓延る性差別の根絶
■アクセスをよくしてほしい
■活動してるなら内容を早く知りたかったです！選択的夫婦別姓などの理解を促進するイベントやコンテンツを作成してほしいです
■メディアを使ってもっと露出してほしい。上手くメディアを使ってほしい
■もっといろんな人に知ってもらいたい。zoom等でも参加できたらありがたい
■味方になってくれること
■多様な性のあり方を見据えた男女共同参画のあり方の模索と、その構築を目指した取り組み

「男女共同参画センター」に求めることはありますか？

■もっと施設の数が増えてほしいです
■男女で包括されない者への取り組み
■男女はもちろん、いろんな世代に向けた取り組みやPRをしてほしい
■ジェンダー平等への取り組みを広報すること
■ユースクリニック的な拠点になってくれたら嬉しい
■地域で共通の関心を持っている若者が繋がって一緒にジェンダー平等に向けた行動ができるようなサポートがあるといいなと思いました。
・イベント参加した後に繋がっていられるコミュニティがあったり
・はじめてジェンダーの活動をする人がお試しに男女共同参画センター内でイベントの企画ができたり
・新しく活動を立ち上げる人に助成金や金銭以外の支援を与えられたり
■地域の中学生や高校生向けのイベント、親子イベントなどを実施する。

「男女共同参画センター」に求めることはありますか？

■女性だけでなく、男性にもより一層当事者意識を持ってもらえる取り組み
■もっと若い人を積極的に巻き込んでほしい！イベントの登壇者も若者にウケそうなインフルエンサーを選ぶなど！LGBTセンターのような役割も担ってほしい
■イベントや講座を行ってほしい。気軽に行ける雰囲気かわからないので周知から発信してもらえたら行きやすそう
■ジェンダーに興味のある人が話し合えるコミュニティ
■zoomなどを利用した読書会など
■書籍の貸出
■ジェンダーやフェミニズムに興味があったりWebで情報収集しているけれど身近に仲間や居場所が見つからないという(特に地方の)方のための居場所にできないかな？とは思います
■まずはどんな取組みがなされているのか情報が入ってくるとありがたいです

「男女共同参画センター」求めることはありますか？

■女性差別を一緒になくしたい
■ジェンダー平等に関する学びの機会
■行ったことがなく特にイメージが湧かない
■誰でも訪れることのできる図書館のような公共の場であると嬉しいです。
今はどこもお金がないと過ごせないので若者には重宝されると思います。
■各地域の男女格差を分析し、広く公開してほしい
■男性でも女性でもないと感じている人がいるので、よりユニバーサルな名称にしてもよいかもしれない。また、ジェンダーに関する生活上の困り事を相談でき、仲間と解決できるような場だと良い（既にやっていたらすみません）
■ジェンダー平等教育のための小中学校での出前授業または教員への講習、
産休育休の取得方法や過ごし方についての講座(管轄が違ったらごめんなさい)
■まずは存在を知ってもらうことが大事だと思うので、広報活動に力を入れてほしいなと思います

「男女共同参画センター」求めることはありますか？

■小学校、中学校での子供に向けた講演会や教室
■ジェンダーの情報を発信、誰でも講座を受けられるようにする
■気軽に参加できるイベント
■何をやっているのか知らない。区報でも目にしたことがない
■地域で活動している多世代の交流
■名称の変更。男女だけでない色んな属性の人を排除せず含めてほしい
■あることする知らなかったので、もっと盛んに活動して欲しい…。
■若者がもっと参加しやすい企画や企画立案に関わる機会を作ってほしい
■もっと広報して欲しい
■もっと積極的に行動してほしいです。大学にいても全く情報が入ってきません
■本当に困っている人への情報提供。まだまだ金銭的余裕のない同世代女性は多く、妊娠や出産に後ろ向きな人も多い印象
■HPは見にくい。独自のSNSを開設してほしい

「男女共同参画センター」求めることはありますか？

■このようなセンターがあるなんて知らなかったです。もっと宣伝して欲しいです
■地域社会や人々に根ざして、その地域に合わせた活動を行なっていくこと
より活動が広がっていくに際して、杓子定規で周知・啓蒙を行うのではなく、
その地域の施設にしかできない発信方法や考えをもった場にしていただきたいと
考えておりまし
■もっと告知するべき
■男性の意識改革にもより力を入れていってほしいです
■ターゲット(課題感を持たない人)以外での認知を広げていくこと
■若者中心の場づくりへの支援（e.g.コンドームや生理用品の配布、若者主導の
イベント募集・実施、団体支援など。ボランティアではなくアルバイトとして
雇う形も望ましい）
■ジェンダー平等を掲げるための知識と、どんな行動をすればジェンダー平等に
近づくかを教えて欲しい